

第2投目：釣った魚は一日で8匹



2013.12月某日、今年も我がクラブの年末忘年会釣行の日がやってきました。その晩に行われる忘年会でクロの刺身を囲むため、そして煮付け・唐揚げなど他の食材を調達すべくそれぞれの磯でみんな責任重大です。

前日は北西風が強く波は4m、とても磯釣りが楽しめる天気ではありませんでしたが、釣行日は波も落ちてくる予報となりました。クラブ員8名と過去最多の参加人数が揃い渡船の中は和やかムード、東側海域へ向かいます。

この日の私は一人でジャナレ島付近の磯へ渡礁、まだこの付近でのクロ釣果情報は耳にしていっていませんでしたが、例年なら出ても全くおかしくない時期です。幾度となくこの磯には乗ったことがありますが、ここは朝マズメでの釣果が特に期待できるため、まだ辺りが薄暗いうちから撒き餌を開始し、せかせかと仕掛けを作りました。

まずは足元で魚を確認しますが、チョウチョウオがすぐに2匹出てきて餌を拾います。好印象です。徐々にアイゴやイスズミが増えてくる中、アタリを今か今かと待ちますがなかなか出てくれません。釣りを開始して15分、やっと私のアタリウキがスーッと水中に消えました。そこでしっかり合わせると一気に魚は真下へ！ふんばりながら竿の角度を必死に保ちますが、一歩前へ出てハエ根に道糸が当たらないよう交わす作業がまだ早朝で動きの鈍い私にはできませんでした。そしてそのまま痛恨のハリス切れ…やっちまいました。『いやいや…あのダンプカーのような一気の突っ込みはサンノジでしょう』勝手に思い込みます。そして、次の1投・・払い出しを利用し斜めにいれた仕掛けはまたもやスーッと水中へ。難なくゲットしたのは42cmのかわいいクロ…『本当にさっきのはサンノジだったのだろうか…？』

モーニングサーブスタイムはそこで終了しました。それからはネムリザメが2匹で常にウキの周りをパトロールする時間が続き、魚のアタリがほとんどない時間が過ぎました。なんと一日を通して釣った魚は、クロの他にイスズミ1匹とアイゴ2匹、イソゴンベ2匹にオジサンとコバンザメが1匹づつ。

奄美は魚が釣れると全国から釣り師が来島してくれる離島、それでもこんな日があるのです。釣りはつくづく自然条件相手に難しいなと感じました。そして、一日を通して一発あるかないかの大きなアタリ、それを確実にものにしていかなければ…と強く感じた釣行ともなりました。まだまだ伸びしろ十分な私です。

